

浜の活力再生プラン
令和 6～10 年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	むつ市大畑地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 田高利美（大畑町漁業協同組合 代表理事組合長）

再生委員会の構成員	大畑町漁業協同組合、中型いか釣り漁業者、小型いか釣り漁業者、小型定置網漁業者、むつ市大畑庁舎市民生活課、青森県下北地域県民局地域農林水産部下北地方水産事務所
オブザーバー	—

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	地 域：むつ市大畑地区（大畑町漁協の地区） 漁業の種類： 中型いか釣り漁船漁業：1経営体 小型いか釣り漁船漁業：33経営体 小型定置網漁業（外海養殖業兼業）：3経営体 （令和6年5月31日現在）
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>当地区は、三方を海に囲まれた下北半島にあって、津軽海峡に面した北辺に位置し、いか釣り漁業、小型定置網漁業、底建網漁業などが主体的に営まれている。</p> <p>近年は、スルメイカやサケの大不漁などで、これまで経験したことがないほど漁獲量が低迷した。加えて、原油価格の上昇に伴う漁業用燃油と漁業用資材の価格上昇などが漁業経営に深刻な影響を及ぼしている。特に中型いか釣り漁業及び小型いか釣り漁業に関しては、スルメイカの不漁により事業を継続することが困難となり廃業する者が増加しているほか、いか釣り漁業から他の漁業種類への変更も一部見られるようになり、マグロ延縄漁を行う漁業者も増えている。</p> <p>小型定置網漁業、底建網漁業では、海水温や潮流の影響から、操業が安定せず、網の調整や修繕の頻度も著しく増加し、燃油経費や修繕費の増大が経営を圧迫している。また、新たな取り組みとして、捕鯨船の水揚げをしてもらい収益につながっている。</p> <p>一方で、イカに特化した漁業からの転換を図るために、20年以上前から取り組んでいるドナルドソン系ニジマスの海中養殖による「海峡サーモン」は、ブランド化が成功し、作り育てる漁業の先駆けとして高く評価されている。</p> <p>また、平成30年度に、衛生管理型の水産物流通荷捌場・海水処理施設等（新大畑町魚市場）が完成し、運営が開始された一方で、令和3年に発生した大雨により孵化場が一部、未だに使用できない状態となっている。</p>
--

(2) その他の関連する現状等

<p>当地区は海、川、山に囲まれた自然豊かな地域である。古くから漁業と林業で栄えており、また、薬研地区には薬研温泉郷を抱え、温泉の町としても下北の観光の一翼を担ってきた。</p> <p>イカに特化した漁業からの転換を図るために、20年以上前から取り組んでいるドナルドソン系ニジマスの海中養殖による「海峡サーモン」は、ブランド化が成功し、作り育てる漁業の先駆けとして高く評価されるとともに、雇用の創出やイベント開催による交流人口の増大につながっている。また、水産加工業における原料魚種の拡大や夏秋いちごの6次産業化など、他産業においても新たな取組が始まっており、地区の活性化が期待されている。</p>

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

地域の基幹産業である漁業を維持していくため、大畑地区の主力である中型いか釣り及び小型いか釣り漁業並びに小型定置網漁業の振興を図るとともに、効率的で安定的な漁業経営が行われるよう、次の活動に取組み地域の活性化を図る。

1 漁業収入向上の取組

- (1) 衛生管理型水産物流通荷捌施設、海水処理施設等を十分に活用する等、漁獲物の高付加価値化（中型いか釣り漁業、小型いか釣り漁業、小型定置網漁業）
- (2) 水産資源の増殖と適正な管理・保護の促進による持続可能な漁業の構築（小型定置網漁業）
- (3) 魚食文化の伝承と普及を通じた販売促進活動の促進による漁業収入の向上（中型いか釣り漁業、小型いか釣り漁業、小型定置網漁業）
- (4) 大畑漁港への陸揚・集出荷機能の集約による所得の向上（木野部、正津川2漁港の漁獲物を大畑漁港に陸揚・集荷）

2 漁業コスト削減の取組

- (1) 漁業用燃料経費の削減による漁業経営の効率化・安定化（中型いか釣り漁業、小型いか釣り漁業、小型定置網漁業）

3 漁村の活性化のための取組

底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するサーモン祭り等のイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進と交流人口の増加をさらに進める。

(3) 資源管理に係る取組

漁業協同組合の共同漁業権行使規則及び行使計画により、漁業期間、漁業の方法、漁獲サイズ等を制限しているほか、県資源管理指針に基づく資源管理計画を策定し、休漁日を設定するなど資源保護に努めている。

(4) 具体的な取組内容

1 年目 (令和 6 年度) 所得向上率 (基準年比) 7.4%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1 水産物の付加価値向上の取組</p> <p>(1) 中型いか釣り漁船漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用イカの出荷方法について、ブロック凍結からIQF (一尾凍結 Individual Quick Frozen) への切り替えをさらに進める。 <p>(2) 小型いか釣り漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。 <p>(3) 小型定置網漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用の箱、ラベルを使用し、漁獲から出荷まで氷締めし鮮度維持に努めることによる、さらなる高付加価値化を図る。 <p>2 つくり育てる漁業の推進 (小型定置網漁業者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラマススモルト放流を増やし、サクラマス資源・漁獲量の向上を図る。 <p>3 魚食文化の伝承と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、漁業協同組合とむつ市が立てた販売戦略に基づき、一尾凍結イカや高付加価値化した水産物を各種団体のイベント等で試食販売することにより販売促進を図る。 ・小型定置網漁業者は、観光客を対象とした漁業体験により魚と直にふれあう機会を提供し、漁業への理解を深めてもらうことで水産物販売促進を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1 省燃油に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するサーモン祭り等のイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進と交流人口の増加をさらに進める。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>漁業経営セーフティネット構築事業 (国) 水産業強化支援事業 (国)</p>

2 年目 (令和 7 年度) 所得向上率 (基準年比) 8.2%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1 水産物の付加価値向上の取組</p> <p>(1) 中型いか釣り漁船漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用イカの出荷方法について、ブロック凍結からIQF (一尾凍結 Individual Quick Frozen) への切り替えをさらに進める。 <p>(2) 小型いか釣り漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。 <p>(3) 小型定置網漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用の箱、ラベルを使用し、漁獲から出荷まで氷締めし鮮度維持に努めることによる、さらなる高付加価値化を図る。 <p>2 つくり育てる漁業の推進 (小型定置網漁業者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラマススモルト放流を増やし、サクラマス資源・漁獲量の向上を図る。 <p>3 魚食文化の伝承と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、漁業協同組合とむつ市が立てた販売戦略に基づき、一尾凍結イカや高付加価値化した水産物を各種団体のイベント等で試食販売す
---------------------	--

	<p>ることにより販売促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進をさらに進める。 ・小型定置網漁業者は、観光客を対象とした漁業体験により魚と直にふれあう機会を提供し、漁業への理解を深めてもらうことで水産物販売促進を図る。 <p>4 大畑漁港への陸揚・集出荷機能の集約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸揚・集出荷機能の集約に向け、大畑漁港及び正津川漁港において、老朽化が進行している漁港施設の保全工事を行う。 ・木野部及び正津川の2漁港の漁獲物を大畑漁港に陸揚・集出荷することにより、漁獲物の一定の量を確保し、魚種やサイズを揃えた状態で箱詰めして出荷することで魚価の向上を図る。また、これまでは自家消費に回っていたものを集め、1箱に揃えて出荷することでロスを大幅に削減し、漁業所得の向上を図る。
漁業コスト削減のための取組	<p>1 省燃油に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。
漁村の活性化のための取組	<p>底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するサーモン祭り等のイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進と交流人口の増加をさらに進める。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティーネット構築事業（国） 水産業強化支援事業（国） 水産物供給基盤機能保全事業（国）</p>

3年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）9.1%

漁業収入向上のための取組	<p>1 水産物の付加価値向上の取組</p> <p>(1) 中型いか釣り漁船漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用イカの出荷方法について、ブロック凍結からIQF（一尾凍結 Individual Quick Frozen）への切り替えをさらに進める。 <p>(2) 小型いか釣り漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。 <p>(3) 小型定置網漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用の箱、ラベルを使用し、漁獲から出荷まで氷締めし鮮度維持に努めることによる、さらなる高付加価値化を図る。 <p>2 つくり育てる漁業の推進（小型定置網漁業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラマススモルト放流を増やし、サクラマス資源・漁獲量の向上を図る。 <p>3 魚食文化の伝承と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、漁業協同組合とむつ市が立てた販売戦略に基づき、一尾凍結イカや高付加価値化した水産物を各種団体のイベント等で試食販売することにより販売促進を図る。 ・底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進をさらに進める。 ・小型定置網漁業者は、観光客を対象とした漁業体験により魚と直にふれあう機会を提供し、漁業への理解を深めてもらうことで水産物販売促進を図る。 <p>4 大畑漁港への陸揚・集出荷機能の集約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸揚・集出荷機能の集約に向け、大畑漁港及び正津川漁港において、老朽化が進行している漁港施設の保全工事を行う。
--------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・木野部及び正津川の2漁港の漁獲物を大畑漁港に陸揚・集出荷することにより、漁獲物の一定の量を確保し、魚種やサイズを揃えた状態で箱詰めして出荷することで魚価の向上を図る。また、これまでは自家消費に回っていたものを集め、1箱に揃えて出荷することでロスを大幅に削減し、漁業所得の向上を図る。
漁業コスト削減のための取組	1 省燃油に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。
漁村の活性化のための取組	底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するサーモン祭り等のイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進と交流人口の増加をさらに進める。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティネット構築事業（国） 水産業強化支援事業（国） 水産物供給基盤機能保全事業（国）

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比）9.9%

漁業収入向上のための取組	1 水産物の付加価値向上の取組 <p>(1) 中型いか釣り漁船漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用イカの出荷方法について、ブロック凍結からIQF（一尾凍結 Individual Quick Frozen）への切り替えをさらに進める。 <p>(2) 小型いか釣り漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。 <p>(3) 小型定置網漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用の箱、ラベルを使用し、漁獲から出荷まで氷締めし鮮度維持に努めることによる、さらなる高付加価値化を図る。 <p>2 つくり育てる漁業の推進（小型定置網漁業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラマスモルト放流を増やし、サクラマス資源・漁獲量の向上を図る。 <p>3 魚食文化の伝承と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、漁業協同組合とむつ市が立てた販売戦略に基づき、一尾凍結イカや高付加価値化した水産物を各種団体のイベント等で試食販売することにより販売促進を図る。 ・底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進をさらに進める。 ・小型定置網漁業者は、観光客を対象とした漁業体験により魚と直にふれあう機会を提供し、漁業への理解を深めてもらうことで水産物販売促進を図る。 <p>4 大畑漁港への陸揚・集出荷機能の集約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸揚・集出荷機能の集約に向け、大畑漁港及び正津川漁港において、老朽化が進行している漁港施設の保全工事を行う。 ・木野部及び正津川の2漁港の漁獲物を大畑漁港に陸揚・集出荷することにより、漁獲物の一定の量を確保し、魚種やサイズを揃えた状態で箱詰めして出荷することで魚価の向上を図る。また、これまでは自家消費に回っていたものを集め、1箱に揃えて出荷することでロスを大幅に削減し、漁業所得の向上を図る。
漁業コスト削減のための取組	1 省燃油に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減による所得向上を図る。

漁村の活性化のための取組	底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するサーモン祭り等のイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進と交流人口の増加をさらに進める。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティネット構築事業（国） 水産業強化支援事業（国） 水産物供給基盤機能保全事業（国）

5年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）10.8%

漁業収入向上のための取組	<p>1 水産物の付加価値向上の取組</p> <p>(1) 中型いか釣り漁船漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生食用イカの出荷方法について、ブロック凍結からIQF（一尾凍結 Individual Quick Frozen）への切り替えをさらに進める。 <p>(2) 小型いか釣り漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減の取組を継続する。 <p>(3) 小型定置網漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用の箱、ラベルを使用し、漁獲から出荷まで氷締めし鮮度維持に努めることによる、さらなる高付加価値化を図る。 <p>2 つくり育てる漁業の推進（小型定置網漁業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラマススモルト放流を増やし、サクラマス資源・漁獲量の向上を図る。 <p>3 魚食文化の伝承と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、漁業協同組合とむつ市が立てた販売戦略に基づき、一尾凍結イカや高付加価値化した水産物を各種団体のイベント等で試食販売することにより販売促進を図る。 ・底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進をさらに進める。 ・小型定置網漁業者は、観光客を対象とした漁業体験により魚と直にふれあう機会を提供し、漁業への理解を深めてもらうことで水産物販売促進を図る。 <p>4 大畑漁港への陸揚・集出荷機能の集約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸揚・集出荷機能の集約に向け、大畑漁港、正津川漁港及び木野部漁港において、老朽化が進行している漁港施設の保全工事を行う。 ・木野部及び正津川の2漁港の漁獲物を大畑漁港に陸揚・集出荷することにより、漁獲物の一定の量を確保し、魚種やサイズを揃えた状態で箱詰めして出荷することで魚価の向上を図る。また、これまでは自家消費に回っていたものを集め、1箱に揃えて出荷することでロスを大幅に削減し、漁業所得の向上を図る。 ・木野部漁港、正津川漁港で陸揚・集出荷機能の集約に伴い利用されなくなる物揚場や泊地の一部をナマコの増殖場として有効活用することで、ナマコの漁獲量の増大による漁業者の所得向上を図る。
漁業コスト削減のための取組	<p>1 省燃油に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船底、舵、プロペラ等を洗浄・研磨するなど船底清掃等を実施し、航行時の船体に係る抵抗を低減するとともに、減速走行に努めることで消費燃料削減による所得向上を図る。
漁村の活性化のための取組	底建網漁業者及び小型定置網漁業者は、各種団体が主催するサーモン祭り等のイベントを通じた魚食のPRと、小中学生を対象とした食育活動を継続し、水産物販売促進と交流人口の増加をさらに進める。

活用する支援措置等	漁業経営セーフティネット構築事業（国） 水産業強化支援事業（国） 水産物供給基盤機能保全事業（国）
-----------	---

(5) 関係機関との連携

青森県（農林水産部水産局水産振興課、漁港漁場整備課や下北地方水産事務所）、地方独立行政法人青森県産業技術センター（水産総合研究所、内水面研究所）と連携する。また、問題点については原因を調査し、解決に向けた課題整理を行う。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

年1回以上、再生委員会を開催し、事業の進捗状況を報告、見直しを行いながらプランの推進を図っていく。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

(3) 所得目標以外の成果目標

サクラマス専用箱、ラベルの使用に伴う付加価値向上による単価向上	基準年	平成30年度～令和4年度の5か年平均： 976 円/kg
	目標年	令和10年度： 1,026 円/kg

魚食文化の伝承と普及 (イベントでの試食・販売)	基準年	令和4年度～令和6年度の3か年平均： 5,843 人
	目標年	令和10年度： 9,000 人

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

前期浜プラン期間中、専用箱、ラベルの使用に伴う付加価値向上に向けた取組を行い、令和4年のサクラマスの平均単価が平成30年と比較し157円上昇したところである。今期浜プランにおいても、他の環境に左右されぬよう上記取組を継続実施する必要がある。よって、過去5ヵ年平均単価976円を基準とし、最終年度平均単価1,026円を目指す。

尚、前期浜プラン実績より本計画につき無理がなく、妥当と判断する。

年1回のサーモン祭り来場者について、過去の平均から基準年の人数を算出し、9,000人の入場者を目指す。イベント拡大に向けたこれまでの取組を今後も継続することから、無理のない目標と判断した。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット構築事業（国）	内容：漁業者と国の抛出により、燃油価格などが高騰したときに補填金を交付する。 →プランの取組全体を支える。
水産業強化支援事業（国）	内容：水産業の健全な発展と水産物の安定供給の確保を目的として、産地協議会が作成する産地水産業強化計画に基づいて、ソフト支援とハード支援を行う。 →プランにおいて、課題克服に必須となる施設の整備・再編案を、「既存事業強化のための事業インフラの整備・改編」として挙げている。
水産物供給基盤機能保全事業（国）	内容：機能保全計画に基づき、老朽化が進行した漁港施設の保全工事を実施し、施設の長寿命化を図る事業。 →大畑漁港への陸揚・集出荷機能の集約及び木野部漁港、正津川漁港を有効活用するために必要な整備を実施。